

# 産科医療体制検討専門委員会

(令和2年度)

## 産科医療体制検討専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 産科医療体制検討専門委員会

委員長 工藤 美樹

県内における分娩施設の集約化によりこれまで産科医療提供体制を維持してきた。しかし、医療を提供する側と受ける側の双方において状況が変化したために、現在の体制を維持するのが困難になってきた。そこで、今後に向けて持続性のある産科医療提供体制を構築する目的で本委員会を設置した。

### I. 医療圏域における産科医療提供体制の現状について

県が管理する資料によると、医療圏域別の主たる診療科として産科・婦人科を標榜する医師数は、広島圏域ではその減少が顕著であるが、広島中央圏域や福山・府中圏域においては若干増加している。広島県における分娩取扱施設数は年々減少しており、現在48施設である。分娩件数は、県全体では減少傾向であるが、広島中央圏域においては増加している。また、分娩のうち開業医で扱う件数が約65%であり、分娩数全体に占める割合は増加傾向である。

上記の産科医療の現状は、分娩施設の集約化を行った約10年前と比較して明らかに変化してきており、現状を正確に反映する資料を作成する必要があると考え、広島県内の分娩取扱医療機関(48施設)にアンケート調査を行った。その結果に基づいて、持続性のある産科医療提供体制の構築について協議を行った。また、医師の働き方改革にも対応できるような体制についても検討した。

### II. アンケート調査の結果

今後の分娩取扱継続期間に関して、医師の高齢化等の理由により「1年以内に閉院予定」と回答した有床診療所が2施設あり、分娩取扱施設の減少が見込まれる。医療機関における現状や課題として、産婦人科医の不足、人材育成のほか、働き方改革や分娩数の減少等に伴う経営環境の悪化などの懸念も示されていた。圏域内における連携体制においては、

圏域内での分娩施設の偏在や、既存の産婦人科の閉院等による他施設の分娩数の増加、マンパワー不足のほか、県外への搬送対応などの現状・課題が挙げられた。また、県全体における集約化／重点化については、多くの医療機関が産婦人科医の不足、負担軽減、女性医師の増加、医療レベルの維持などから、集約化は必要との認識を示しているとの結果が示された。

### III. 働き方改革への対応

広島県の周産期医療における医療資源について、広島大学産婦人科関連病院の現状は、平成21年～令和2年入局の医師が過半数を占めており、男女比は1:2であり若い世代ほど女性医師の割合が高い傾向である。働き方改革により定められた医師の労働時間規制は960時間(A水準)とされている(研修医等は除く)。ただし、周産期医療については2035年度末終了年限までの暫定措置として、地域医療確保暫定特例水準(B水準)が設けられており、1,860時間に収めることとされている。これらを踏まえて、分娩施設労働時間試算を用い広島大学関連病院の医師数で試算すると、A水準を満たすためには現在10施設ある分娩取り扱い病院(開業医を除く)を約5施設に絞らなければならない。B水準を満たすためには約11施設となり、計算上は必要医師数を満たしている。しかし、これらの試算は「産休、育休、時短を考慮しない」と仮定しているが、若手の女性医師が多いことを考慮すると仮定を現実に即して設定する必要がある。したがって、労働時間規制のB水準を満たすためには現状の医療資源では困難であると考えられる。

### IV. 専門医取得のための修練施設について

専門医研修を行っている若手医師には、産婦人科専門医だけでなく婦人科腫瘍、周産期、生殖、女性

医学のサブスペシャリティ領域やがんゲノム医療、臨床遺伝、内視鏡技術認定医の取得など、より専門性を高めたいという希望を持つ医師が多い。そのためにはこれらの専門医／認定医の取得のための研修施設を維持する必要がある。したがって、集約化と重点化は協調して進める必要があり、まずは若手産婦人科医の修練システムをしっかりと構築し重点化を進めた上で、集約化を行うのが望ましいと考えられる。

以上のことから、持続性のある産科医療提供体制

を構築するための取り組みの方向性として、人材育成のための修練システムの構築の検討、働き方改革に対応するための人員配置と勤務体制の構築、女性医師等の働きやすい環境づくりの3点を今後の検討課題としたい。そのためには集約化／重点化は必要であり、各圏域の実情を把握した上で、圏域の地対協、医師会、行政との調整や協力を得て進めていく必要がある。また、医療の受け手側の理解も必須であり、公開講座等の実施によりお互いの理解を深めた上で実施する必要があると考える。

広島県地域保健対策協議会 産科医療体制検討専門委員会

委員長 工藤 美樹 広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学  
委員 青江 尚志 福山市民病院  
児玉 順一 広島市立広島市民病院  
児玉 尚志 東広島医療センター  
斉藤 一博 広島県健康福祉局医療介護人材課  
坂下 知久 JA尾道総合病院  
志村千鶴子 広島県助産師会  
土谷 治子 土谷総合病院  
豊田 紳敬 広島県産婦人科医会  
中西 敏夫 広島県医師会  
中西 慶喜 JA広島総合病院  
藤本 英夫 市立三次中央病院  
藤原 久也 中国労災病院  
水之江知哉 呉医療センター・中国がんセンター  
茗荷 浩志 広島県医師会  
三好 博史 県立広島病院  
向井百合香 広島大学病院産科婦人科  
山本 暖 福山医療センター